

日本オリエント学会第 58 回大会プログラム

2016 年 11 月 12 日 (土)・13 日 (日)

会場：慶應義塾大学三田キャンパス第一校舎

第 1 日 11 月 12 日(土) 14:00～20:00

公開講演会・学会奨励賞授賞式

会場：北館ホール

13：30 開場

14：00～14：10 開会挨拶

14：10～17：00 第 315 回公開講演会 「オリエント世界の宗教建築」

第 1 講演：岡田保良（国士舘大学イラク古代文化研究所・教授）

「メソポタミアにおける神殿建築の系譜：バビロニア様式を中心に」

第 2 講演：益田朋幸（早稲田大学文学学術院・教授）

「東方キリスト教の聖堂と壁画装飾」

コメント：深見奈緒子（日本学術振興会カイロ研究連絡センター・センター長）

17：10～17：40 第 38 回日本オリエント学会奨励賞授賞式

18：00～20：00 懇親会（会場：南校舎カフェテリア）

第 2 日 11 月 13 日(日) 9:30～16:00

研究発表会

会場：102, 103, 104, 105, 108, 110 教室（口頭発表）

111 教室（ポスター発表：コアタイム [12：50～13：20]）

主催 日本オリエント学会

後援 慶應義塾大学文学部

11月13日(日) 研究発表 (それぞれの発表は20分、質疑応答は5分をお願いいたします。)

第1部会 102教室

	時間	発表者	発表題目
1	9:30-9:55	堀岡 晴美	Tell Fara 出土文書に見られる職名 dilmun
2	10:00-10:25	渡辺 和子	『ギルガメシュ叙事詩』の新文書がもたらすもの
3	10:30-10:55	秋元 和彌	けもの、くだもの、作り物や人物が演じて諭す:古代オリエントの人々の寓話という表現
4	11:05-11:30	佐久間保彦	ヒッタイトの蛇占い文書
5	11:35-12:00	永井 正勝・高橋 洋成	古代エジプト語聖刻文字資料とアッカド語楔形文字資料の対訳データベースの構想:「対応関係の可視化」のための研究プラットフォームの形成
12:00-13:30			[昼休み]
6	13:30-13:55	江原 聡子	新アッシリア時代におけるハランのシン崇拝:シリア出土のステラの分析に基づいて
7	14:00-14:25	渡辺千香子	メソポタミアの合成獣(アンズー)に関する考察
8	14:35-15:00	青島忠一郎	エサルハドンの王碑文における反乱の記述とその役割
9	15:05-15:30	山我 哲雄	旧約聖書とユダヤ教における食物規定(カシュルット)
10	15:35-16:00	杉江 拓磨	ダニエル書における神・王・賢人:メソポタミアの理念と対比して

第2部会 103教室

	時間	発表者	発表題目
1	9:30-9:55	南澤 武蔵	古代エジプトのファイアンス製シャブティの製作について:生徒の復元製作を一つの手掛かりとして考える
2	10:00-10:25	西秋 良宏	南コーカサス地方新石器時代の社会発展と建築伝統
3	10:30-10:55	足立 拓朗・藤井 純夫	アラビア半島北西部、ワディ・シャルマ1遺跡出土の貝製遺物について
4	11:05-11:30	安倍 雅史・後藤 健・西藤 清秀・上杉 彰紀・堀岡 晴美	バハレーン、ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト第2次調査の報告
5	11:35-12:00	土居 通正	エーゲ海東南部と南西アナトリアの前12世紀前半の在地のミケーネ土器:特にピクトリアル・スタイルの編年について
12:00-13:30			[昼休み]
6	13:30-13:55	津村真輝子	北シリアにおけるローマとサーサーン朝ペルシアの境界域:テル・ミシヨルフェ遺跡出土資料からの考察
7	14:00-14:25	宮下佐江子	パルミラ饗宴図像の履物の意味について
8	14:35-15:00	藤澤 綾乃	キリスト教公認後のエルサレム周辺における教会堂建設について
9	15:05-15:30	渡部 展也	ベイティン遺跡ワディ・タワヒーン地区(パレスチナ)の水利施設とその立地
10	15:35-16:00	岡田 真弓	イスラエル国における文化財保存政策の系譜に関する一考察

第3部会 104教室

	時間	発表者	発表題目
1	9:30-9:55	山田 綾乃	クフ王第2の船の部材に記された文字:甲板室天井編
2	10:00-10:25	畑守 泰子	エジプト古王国時代の墓碑文と図像に見る女性像とジェンダー
3	10:30-10:55	肥後 時尚	古代エジプトのマートの形態分類:中王国時代の文献資料を中心に
4	11:05-11:30	長谷川 奏	エジプト・デルタ地域の砂丘集落調査における探査技術応用の有効性
5	11:35-12:00	河合 望	エジプト、サッカラにおける新王国時代の墓地について
12:00-13:30			[昼休み]
6	13:30-13:55	高橋 寿光	エジプト、ルクソール西岸のアル=コーカ地区ウセルハト墓(TT47)から出土した新王国時代の土器群について

7	14:00-14:25	秋山 慎一	「残される記録、残されない記録」:エジプト新王国時代における、取引文書存在の意義
8	14:35-15:00	西本 直子	古代エジプトの建築家 Kha の寝台(トリノ・エジプト博物館蔵・S.8327)
9	15:05-15:30	和田浩一郎	エジプト・アコリス遺跡出土の子供の埋葬について
10	15:35-16:00	西本 真一・ 安岡 義文	エジプト・アコリスの未完成オベリスクと第一アナスタシ・パピルス

第4部会 105教室

	時間	発表者	発表題目
2	10:00-10:25	宮本 亮一	バクトリア語文書から見たトハーリスターンの社会
3	10:30-10:55	青木 健	パトナーにおけるプロアスター教神秘主義者アーザル・カイヴァーン
4	11:05-11:30	Begmatov Alisher	カフィルカラ遺跡出土の銘文と画像
5	11:35-12:00	土谷 遥子	ダレルの支流渓谷『Giyal 川渓谷』現地調査 パキスタン北部地方『法頭の道』現地調査(2015)
12:00-13:30		〔昼休み〕	

企画セッション 105教室

テーマ:「ペルシア神秘主義における「ワラーヤ」概念の継承」(企画代表:井上 貴恵)

6	13:30-13:55	藤井 守男	ペルシア神秘主義文学に見るワラーヤをめぐって:アブーサード・アビル・ハイ ルからルーミーまで
7	14:00-14:25	宋 暎恩	ジャーミーの聖者列伝にみるイブン・アラビーの聖者性と霊的系譜
8	14:35-15:00	井上 貴恵	『ゴルシャネラーズ』にみるワラーヤ概念:ペルシア神秘主義思想への存在一 性論の影響をめぐって
9	15:05-15:30		コメント・討論(司会:鎌田 繁)

第5部会 108教室

	時間	発表者	発表題目
1	9:30-9:55	太田 敬子	アッバース朝期(9-10世紀)における ahl al-dhimmah 規定の明文化の背景と その後の展開
2	10:00-10:25	後藤 敦子	セルジューク朝のイラク支配とアミールたち
3	10:30-10:55	柳谷あゆみ	モスルと対ファランジュ問題
4	11:05-11:30	白岩 一彦	ジャジャの子ヌール・ウッディーンのリクフ文書モンゴル語版について
5	11:35-12:00	大津谷 馨	13世紀後半から15世紀初頭におけるメッカ・メディナの有力学者と周辺王朝 の関わり
12:00-13:30		〔昼休み〕	
6	13:30-13:55	森本 一夫	14-15世紀の十二イマーム派広域ネットワークとその「隠れた宗派主義」
7	14:00-14:25	岩本 佳子	「我らのスルタン」か「我らのパーディシャー」か:オスマン朝文書行政における 君主の呼称をめぐる一考察
8	14:35-15:00	松尾有里子	近世オスマン帝国社会におけるウラマー名家:エブスワード家の活動を中心 に
9	15:05-15:30	田熊友加里	19-20世紀ドイツ語文化圏におけるオリエント産絨毯交易:マイヤー・ミュッラー 商会を事例に
10	15:35-16:00	三沢 伸生	在日イスラーム教徒の対日活動の拠点:バラカトゥッラーの影響

第6部会 110教室

	時間	発表者	発表題目
2	10:00-10:25	立町 健悟	初期ユダヤペルシア語における聖書ヘブライ語動詞体系の反映について
3	10:30-10:55	榮谷 温子	アラビア語古典文法における「あいまいな名詞句」
4	11:05-11:30	平野 貴大	初期十二イマーム派(イマーム派)における顕教的教義:10世紀初頭のタフス ィールの分析を通じて

5	11:35-12:00	相樂 悠太	イブン・アラビー思想における「心」(qalb)と「変転」(taqallub)の意味連関: 先行スーフィーとの比較を通じて
	12:00-13:30		[昼休み]
6	13:30-13:55	矢口 直英	14 世紀のイブン・スィナー『医学典範』注釈
7	14:00-14:25	山本 直輝	アブドゥルガニー・ナーブルスィーによる『タリーカ・ムハンマディーヤ』解釈: スーフィーの思想・実践に関する記述を中心に
8	14:35-15:00	松田 和憲	19 世紀南アジアにおけるイスラーム聖者崇敬批判の展開: シャー・ムハンマド・イスマーイールの議論を中心に
9	15:05-15:30	近藤 洋平	イバード派法学派の形成と展開に関する一考察: 家族法を題材にして

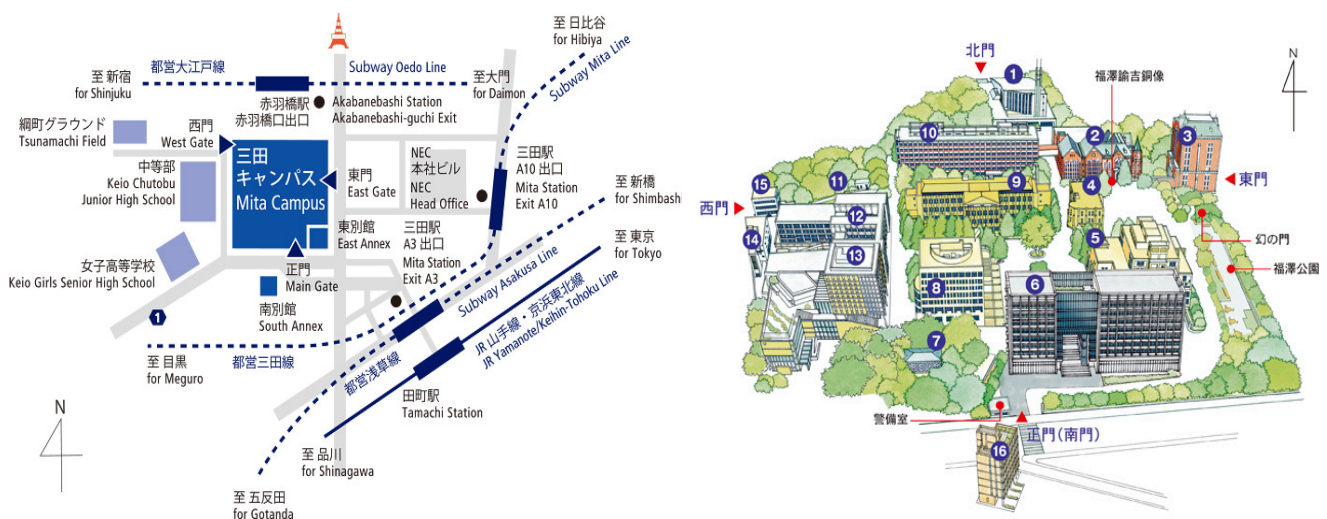
ポスター発表 111 教室 コアタイム 12:50～13:20

発表者	発表題目
近藤 二郎・河合 望・福田 莉紗	エジプト、ルクソール西岸のアル＝コーカ地区から出土した葬送用コーン
黒河内宏昌・吉村 作治	クフ王第 2 の船プロジェクト 2014-15 年度の活動
柏木 裕之・山田 綾乃	クフ王第 2 の船の甲板室で用いられた部材の調査研究
河合 望・柏木 裕之・高橋 寿光	エジプト、アブ・シール南丘陵遺跡出土、イシスフェルトの石棺の保存修復と研究
高橋 寿光	エジプト、ルクソール西岸のアル＝コーカ地区ウセルハト墓(TT47)から出土したプトレマイオス朝の土器群について
佐藤 育子	女神の変容: 地中海におけるフェニキア・カルタゴの宗教の伝播

◎慶應義塾大学三田キャンパス第一校舎へのアクセス

所在地: 東京都港区三田 2 丁目 15 番 45 号

- ・田町駅(JR 山手線・京浜東北線)から徒歩 8 分
- ・三田駅(都営地下鉄浅草線 A3 出口・都営地下鉄三田線 A10 出口)から徒歩 7 分
- ・赤羽橋駅(都営地下鉄大江戸線)赤羽橋口出口から徒歩 8 分
- ・なお大会 2 日目の 11 月 13 日(日)は休日のため正門のみ利用可能です。赤羽橋駅からは徒歩約 10 分かかります。ご注意ください。



①北館ホール(公開講演会会場)⑥南校舎(4F カフェテリア、懇親会会場)⑨第一校舎(1F、研究発表会会場)